

令和 6 年度

特別養護老人ホーム 亀天荘

指定短期入所生活介護事業所 亀天荘

事業報告書

(1) 理念・基本方針

(運営理念)

亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように

(運営方針)

- ① ご利用者とそのご家族を支えるために、ご利用者ごとの最善のケアを多職種共同で考え、医療との連携も図りながらチームケアを行います。
- ② 働きやすい環境を整え、職員一人一人が目標意識を持って仕事ができる体制を作ります。
- ③ 法人内外の事業所との連携を密に図り、稼働率を維持することで安定した運営ができるようにします。

(重点目標)

- ① 日頃から、ご利用者の熱発等の体調不良時には、都度ご家族に詳しく状態を報告しており、病院受診等の必要な対応が速やかにとれるようにしました。また、主治医が亀天会診療所のご利用者については、点滴等の実施により、早期治療・早期回復につながるよう亀天荘で様子観察等を行っております。ご利用者の負担軽減と入院しないで亀天荘での生活が継続できるよう対応しました。移乗方法や食事、排泄など対応を変える必要がある場合も対応方法をわかりやすく説明し、了承をいただくことで、施設でのケアにご理解いただけるように努めました。亀天会診療所等協力医療機関との連携により、急変時や感染症等への対応について細やかなケアや治療を提供することができました。
- ② 毎日のミーティングに介護・看護・事務所の職員が参加し、ご利用者の状態、注意事項等の確認を多職種で行なっています。その後、各部署で周知徹底を行い、職員全体での情報共有に漏れがないよう取り組みました。ご利用者個々のサービス提供を統一して行うことができいております。日々の業務に関して、職員一人一人が自分の役割を理解し、それを果たすことができるように、都度、業務遂行表の確認、見直しを行い、業務のムリ・ムダ・ムラの解消に努めました。個々の役割を明確にすることで、自分が何をすべきか考え、与えられた仕事に責任を持って取り組むことができいております。

- ③ ご利用者の状態の変化には細心の注意を払い、異常を発見した際にはすぐに主治医に報告し、必要な対応をとることで長期の入院の予防に努めました。入院となった場合にもご家族や病院の相談員等との連携を密にすることで、退院後のスムーズな受け入れができるようにしました。ご家族の意向も確認しながら、主治医を亀天会診療所に変更していただき体調不良時には往診を受け、早期治療を行い、入院しないで早期回復ができる体制を整えました。ご利用者及びご家族の負担軽減に役立つことができいております。
- ④ 毎月、行事検討会議を開催し、毎年同じことが繰り返されることのないよう、また、ご利用者により楽しんでいただけるように企画の検討を行いました。季節を感じることをできる催しやより多くのご利用者が作品作り等に参加していただけることを目標に取り組みました。感染症予防対策を徹底し、クリスマス会には、ご家族にも多数参加していただき、ご利用者との交流の時間を楽しんでいただきました。当日参加の職員には、事前に伝えないでクリスマスの思い出やご利用者に関わる際に大切にしていることについて話をしてもらいました。ご家族の前で緊張を隠せない職員が多かったですが、職員を知っていただく良い機会になりました。
- ⑤ 介護施設で働く職員が必要な資格の取得や研修については、技能実習生も含め全員が受講できています。内部研修では、法定研修に加えて座学だけでなく、ご利用者対応に必要な介護技術について、職員がご利用者役にもなり、実技講習を行いました。日々のご利用者へのサービス提供に役立つ勉強会となっています。特に感染症対応については、高いレベルの知識・技術が必要になるため、ガウンテクニックや嘔吐物の適切な処理方法等の研修にも力を入れました。
- ⑥ 各種委員会
- 身体的拘束
身体的拘束については1件実施しました。経管栄養で食事を提供しているご利用者です。胃瘻部抜去防止のためミトンを着用しております。ご家族の了解を得ること、切迫性・一時性・非代替性の三原則を満たしていること、また、必要な記録を残すことの必須要件を守り実施しており

ます。委員会で着用時間をできるだけ短くし、ご本人の負担軽減につながるにはどうすればよいかモニタリングを実施し、検討を行いました。今後も委員会で検討し適切なケアを実施できるよう取り組みます。

- 事故防止

事故を防止するためには、職員一人一人が気付きの心を持つことが大切と考え、特に提出件数が少ない職員や実習生については、ヒヤリハット報告書提出の重要性を継続して伝えました。また、事故発生時には、事故報告書を作成し、原因の分析、対応に問題がなかったか等の検証と再発防止策の検討を行い、職員間で情報共有を行いました。発生した事故が原因で入院となるケースはありませんでしたが、ヒューマンエラーによるもので、防ぐことができた事故の事例もありました。引き続き、決められたことを決められた通りに実施することを忘れず事故防止に努めます。

- 虐待防止

高齢者介護施設スタッフ用に作成された 15 項目の「虐待の芽チェックリスト」で、職員に虐待の芽や不適切ケアについて自己チェックをしてもらいました。その結果を集計し、チェックの多かった項目について具体的な事例を挙げ検討を行いました。日頃、虐待につながるの自覚がなく、何気なく行っている行為が、重大な虐待と捉えられることを改めて認識する良い機会になったと思います。また、認知症高齢者の症状等への対応も年々難しくなっており、困難事例のご利用者への適切な対応が急務となっております。委員会で現状の課題を抽出し、ご利用者の行動の意味を理解して対応しました。認知症の進行を緩やかにするための適切なケアとご利用者の負担軽減について考え、取り組みました。

- 感染症対策

県内の感染症状況を確認し、情報共有を行うことで、職員の感染予防への注意が途切れないよう取り組みました。流行時期には特に注意を呼び掛け、基本的な感染対策の徹底について再確認をしております。1 ケア 1 手洗いと消毒の徹底によりご利用者と職員の体調管理に細心の注意を払い、「持ち込まない」「持ち出さない」「拡げない」の実践に努めました。従来の感染症に加え、ウイルスの変異により新たな対応が必要になる等、学ばなければならないことが増えています。委員会を活用し、学習と情報共有、消毒の確認を行い、感染症予防に努めました。

- 褥瘡防止

「褥瘡をつくらない」ことを目標に取り組み、今年度は1名のご利用者の褥瘡処置を行いました。4月に処置を開始し、8月には完治、処置終了となっています。褥瘡発生時には、「早期の治癒と再発防止」のため主治医と連携をとり、看護師が中心となり必要な処置を実施しました。委員会では、現状と処置方法について情報共有を行い、離臥床の際の注意事項等についても検討を行いました。また、リスクのある利用者についても既往歴・食事摂取状況・皮膚状態の観察結果・毎月測定の体重とBMIの数値等の情報を集め、今後の課題を栄養面、皮膚等の清潔保持方法、マットやクッションの種類、ベッドや車いすでのポジショニング等の様々な視点で検討し、褥瘡をつくらないケアについて考えました。

(2) 利用者に対するサービス

- 食事

ご利用者の楽しみの一つである食事をより良いものにできるよう毎月の給食会議にご利用者及び検食者からの多くの意見を出し、改善点や要望が叶うよう取り組みました。また、具体的に見た目も重視して副食の盛り付け時の色合いにも配慮したメニューや季節感を味わえる新しいメニューの提案も意見に加えております。ご利用者の咀嚼や嚥下の状態を考慮して安全に食べていただけるよう食事形態の検討をしています。

- 入浴

入浴を清潔保持の大切なケアと捉えるとともに全身の皮膚状態をしっかりと観察できる貴重な時間であるとの意識を強く持ちサービス提供を行いました。また、気持ちの良い入浴だったと言葉や表情で表してもらえようお湯の温度や洗身時の力加減等の感想が聞けるよう声掛けを行いながら入浴介助を行いました。入浴前にはバイタルチェックを行い、看護師が入浴の可否を判断しております。安心、安全に入浴していただけるようご利用者のADLに応じた普通浴、チェアー浴、ストレッチャー浴の入浴方法を検討し、実施しました。入浴時の全身の皮膚確認により異常の早期発見ができております。

- 排泄

座位姿勢が保てるご利用者は、立位保持が難しくても二人介助で便座への移乗が可能な場合は、トイレでの排泄を基本として考え、ご本人のご

意見も聴きながら排泄介助を行いました。不眠の訴えがあり、睡眠導入剤等を服用されているご利用者については、日中トイレ誘導を行い、転倒のリスク等を考慮し、夜間はなるべくゆっくりと休んでいただけるよう吸水量の多い尿取りパットを使用しています。また、ご利用者個々の体形や状態にあった紙パンツ、テープ止めオムツや尿量に応じたパットの種類を検討し、使用時の不快感の軽減に努めました。

- 機能訓練

日常生活を営む上で必要な心身機能の維持・改善を目的として、機能訓練指導員が、ご利用者個々の状態に応じた機能訓練計画を作成しております。生活リハビリとして食事、排泄、入浴等の日常生活動作をスムーズに行えるよう介護職員、看護師等から日頃の様子を聴き取り、ご利用者の ADL を適切に評価し、計画に基づいた対応をしています。活動量の低下による廃用症候群の予防にもつながるよう毎月のカンファレンスで対応方法の検討を行い、実施しております。

- 健康管理

毎日すべてのご利用者のバイタルチェックを行っております。普段のバイタル値の把握によりご利用者の変化に気付き、異常の早期発見、早期対応につなげることができています。日中は、亀天会診療所や主治医との連携により病院受診が必要な場合の対応を速やかに行い、夜間においても看護師とのオンコール体制によりご利用者の急変への必要な対応ができるようにしています。日々の体調不良に関する報告をこまめに行なうことで、スムーズに病院受診時等へのご家族の協力を仰ぐことができます。

- 相談・援助

ご家族からの相談については、生活相談員・ケアマネが窓口となり、早期の対応を行うことで安心して頂けるよう対応しました。ご利用者、ご家族に安心してご利用いただけるよう体調不良に関する報告はもちろんですが、ADL の変化・認知症の症状等について、都度、細かな情報提供を行いました。その際にご利用者への対応方法で変更がある場合は、多職種で話し合った結果をお伝えし、納得いただいた上で準備物等への協力をお願いしています。

- ボランティアの受け入れ・地域行事参加状況

10月13日に中庭で子供神輿、獅子舞の見学をしていただきました。30名のご利用者が参加され、「よかった。楽しかった。」と笑顔で答えて下さっています。12月4日に庄内小学校の児童13名の来荘があり、デイサービス亀天荘と合同で交流会を実施しました。児童が考えたプログラムをもとに進行し、クイズ大会、クリスマスソングとダンス、折り紙やボール送り等ご利用者と一緒に楽しめました。児童手作りのメダルを掛けてもらい、肩たたき等のマッサージも受けられ、笑顔がたくさん見られましたが、児童が帰る際は、とても名残惜しそうな表情をされる方が多くいらっしゃいました。

 - 防火・防災・防犯対策

地震での災害に事前に備え、万が一の時に慌てないで対応できることを目的として2回の避難訓練を実施しました。4月は日中、11月は夜間を想定し、垂直避難・第一避難所への移動等想定される動きについて確認を行なっています。訓練後の振り返りでも参加者から様々な意見が出ており、真剣に取り組むことができました。南海トラフ地震や豪雨災害に備えた風水害・土砂災害の訓練も実施しています。また、法人顧問による防犯講習を受け、実際の防犯訓練では、不審者の侵入を想定しての訓練を行いました。
- (3) その他の重要な取り組み
- ① 新型コロナウイルス感染症及び蔓延防止対策

今年度は、新型コロナウイルスによる集団感染は発生しておりません。職員、ご利用者の「手洗い」「うがい」「消毒」と共有スペース、居室の「換気」等の感染対策実施を徹底しております。感染症BCPに基づき、感染を想定したシミュレーション、職員研修を実施しました。座学だけでなく、ガウンテクニックや吐物処理の方法を実技講習することで再確認しております。
 - ② ハラスメント対策

どのような言動、行動がハラスメントに該当するかを職員全員で認識することを目的として研修を行いました。ハラスメントの種類も年々増えており、事業所全体で各ハラスメントに関する防止策や発生時の報告体制等について対応することが求められています。職員一人一人が相手の

事を考え、言葉遣いや態度に注意をすることを基本に働きやすい職場環境となるよう取り組みました。

③ 地域における公益的な活動

低所得で生計が困難な方が少しでも負担を軽減し、ご利用いただけるよう社会福祉法人等による低所得者利用者負担軽減制度を活用しております。

④ 介護職員等処遇改善加算への取り組み

新人職員、技能実習生に入職時研修を実施し介護施設で働く職員が習得しなければならない知識について学んでもらい、実際の介護業務については OJT が、丁寧に指導することで独り立ちできるまでのサポートを行いました。介護施設で必要とされる基本的な知識や技術に加え、対応が難しくなっている認知症高齢者へのサービス提供における専門的な知識や技術への理解を深める取り組みを行いました。内部研修では、座学だけでなく、実際に現場で役立つ実技の実演により、統一したサービスの提供に関して技能実習生も含めた職員全体で情報共有を行いました。サービス提供における疑問、不安等の解消に努めました。職員一人一人が働きやすい職場環境だと感じることができ、職員間のコミュニケーションが円滑なものになるよう個別の面談等行いました。職員及び技能実習生の不安や悩み等を早期に解決できるよう努めました。



令和6年度（介護予防）短期入所生活介護事業所亀天荘

（1）理念・基本方針

亀天荘に関わる全ての人が、穏やかに幸が得られますように

（運営方針）

- ① 軽度の方から施設入所を待つ重度の方まで、安心して利用していただけるサービスを提供します。
- ② サービス利用中のご利用者の状態について、ご家族や居宅のケアマネージャーと情報を共有し、適切なケア方法の提供をすることで在宅生活の継続を支援します。
- ③ 法人内外の各事業所と連携し、地域福祉の拠点としてご利用者のサポートを行います。

（重点目標）

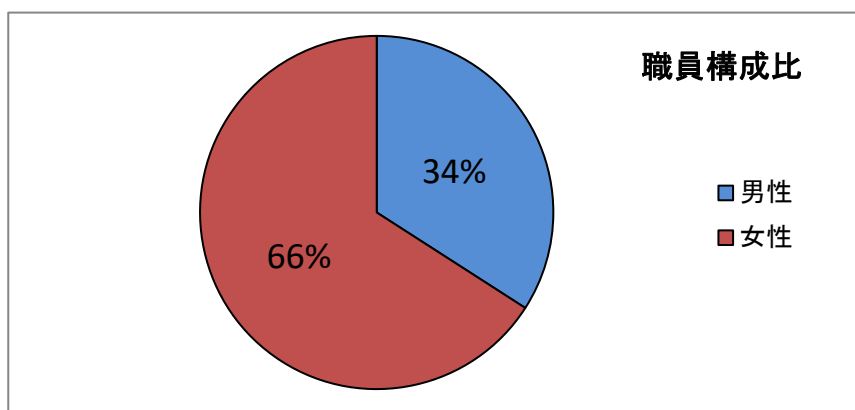
- ① 軽度の方から重度の方まで様々な状態のご利用者に対応でき、サービス利用を必要とされている方に速やかに対応できるよう取り組みました。ご利用いただくことで、「亀天荘を知る」「今後の施設を利用した生活について考える」機会となるようご家族への相談、援助を行なっています。居宅や病院、法人内の他事業所との連携と多職種協働でご利用者の状態をきちんと把握することで適切なケアを提案、実施しております。ご利用者の様子については、手紙を作成し、ご家族が知りたいことは何かに着目し、都度細かな状況を報告しております。ご利用者とご家族がともに満足していただけるサービスの提供に努めました。

1. 事業所

① 概要

事業所名	特別養護老人ホーム 亀天荘		
事業所種別	特養・短期入所		
事業所住所	西条市大野190番地1		
管理者職名	施設長 山田 古津枝		
職員数	男性	女性	総数
	15	29	44

(令和7年3月31日現在)



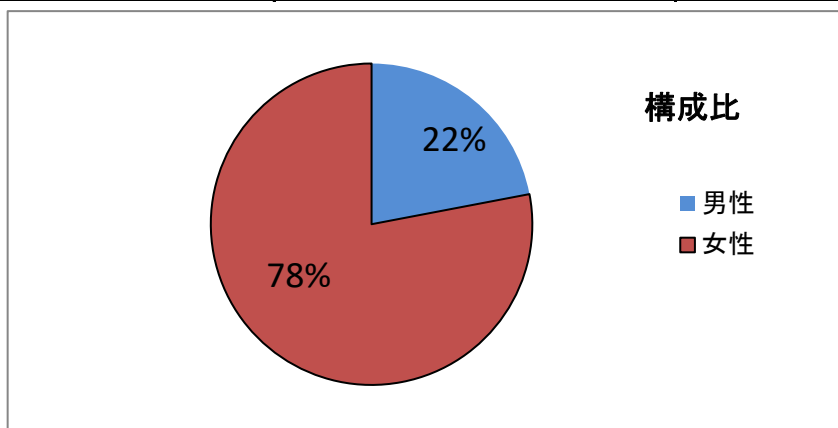
②職員紹介

特別養護老人ホーム亀天荘の職員は、施設長、生活相談員、管理栄養士、事務員、介護支援専門員、機能訓練指導員、介護職員、看護職員、医師(非常勤)で構成されています。また外国人技能実習生を11名受け入れています。

有資格者は介護支援専門員が1名、管理栄養士が1名、介護福祉士が10名、看護師が2名、准看護師が4名となっており、各職種の専門性を活かしながら、多職種協働によるサービスを提供しています。

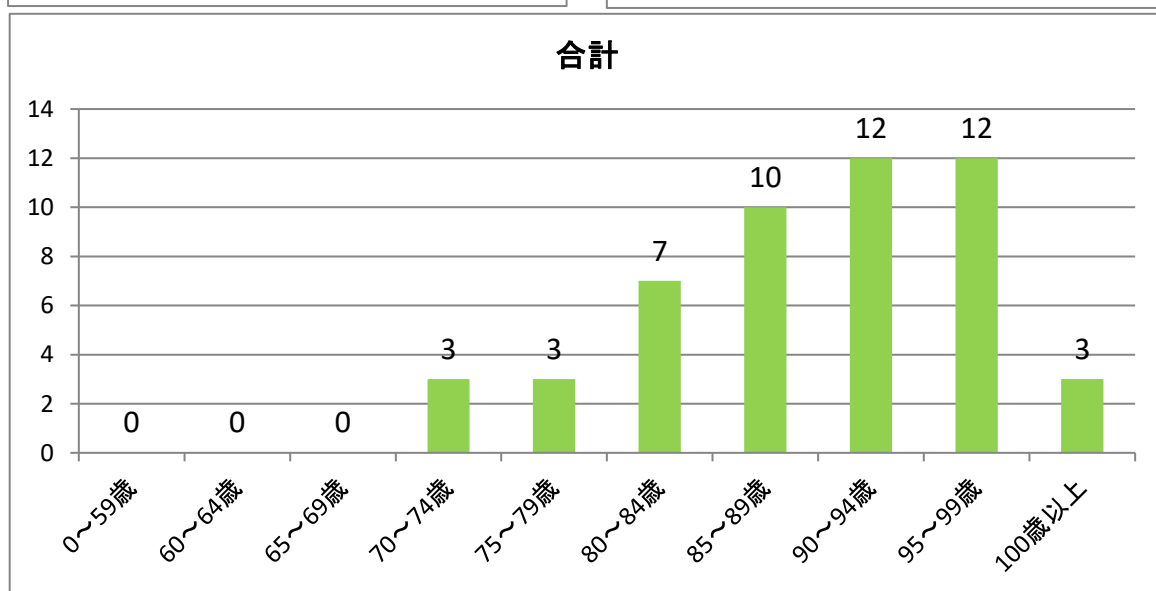
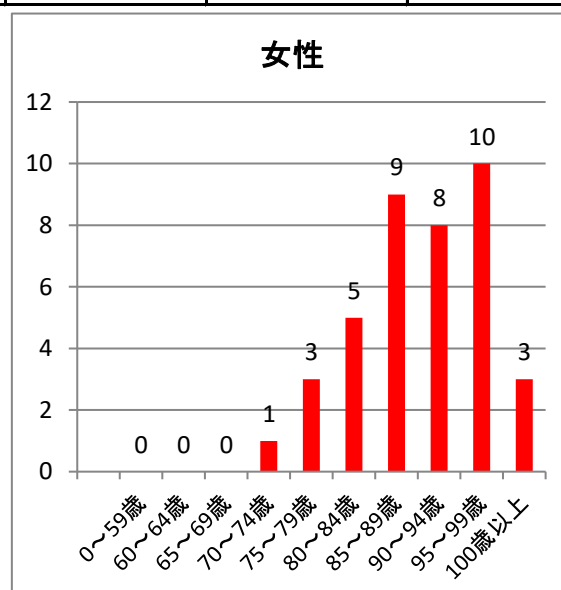
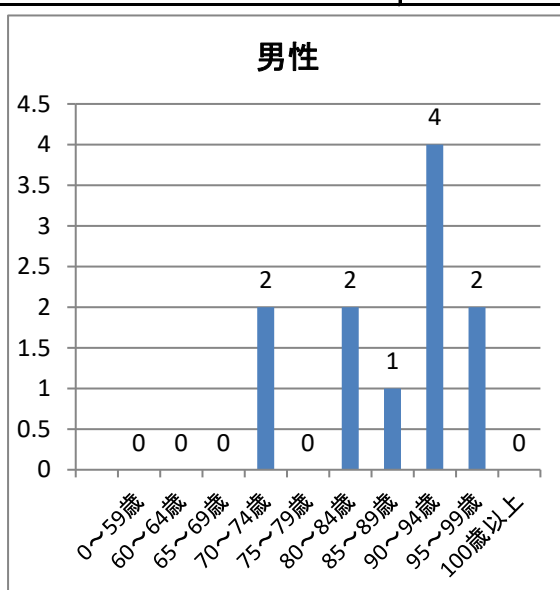
2. 定員及び現在人員(令和7年3月31日現在)

定員	現在人員	性別	
		男性	女性
50	50	11	39



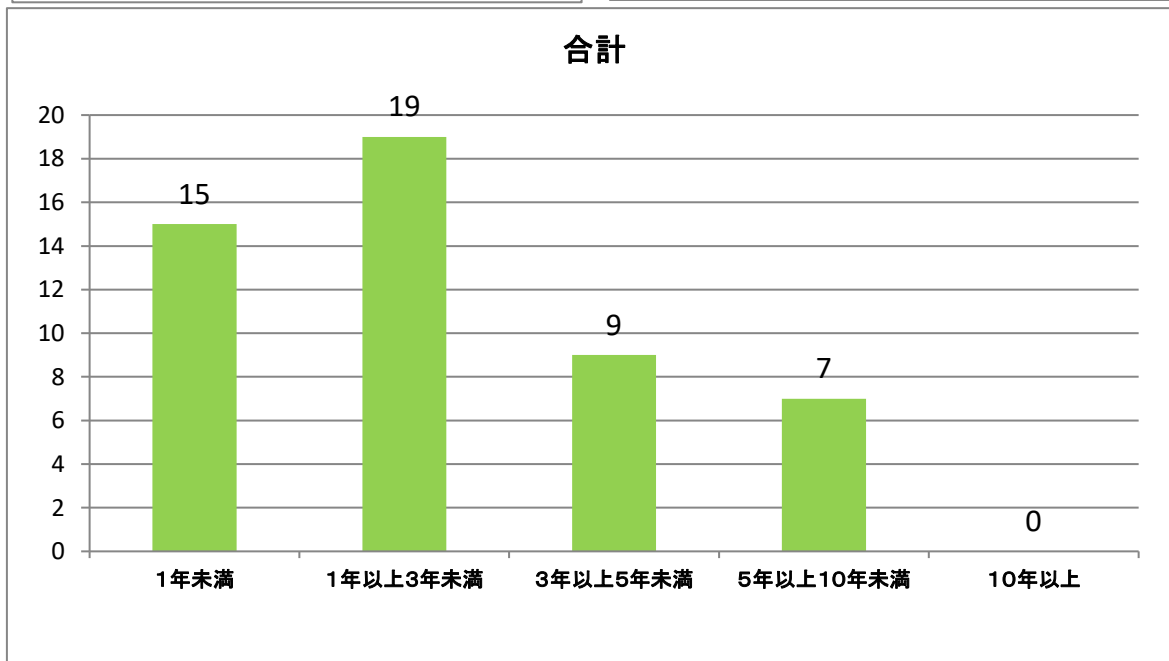
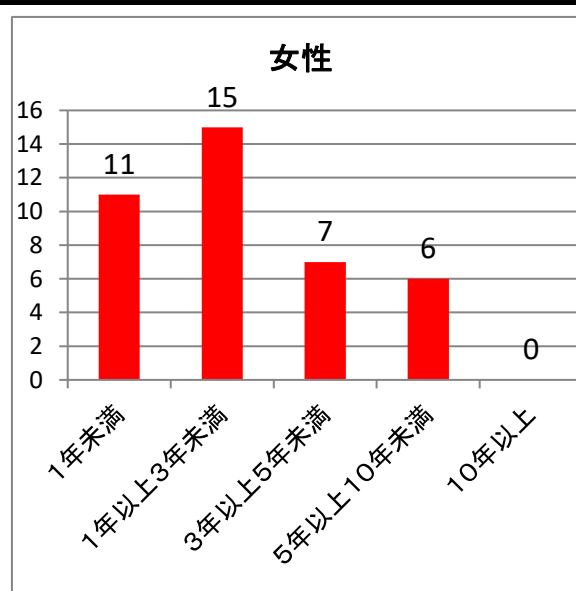
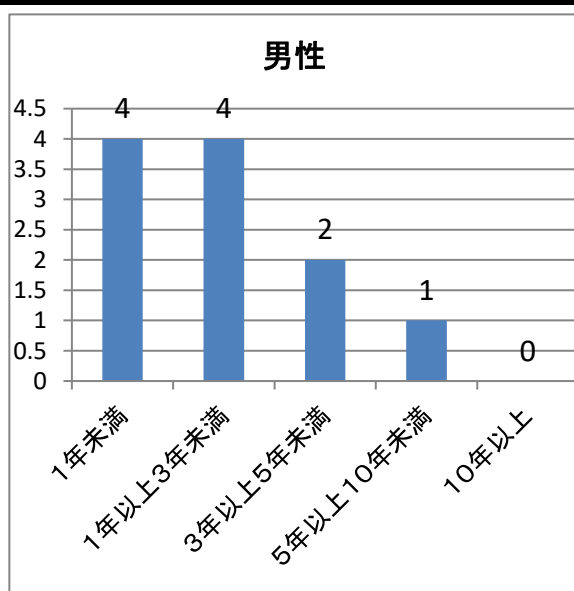
3. 年齢別人員

	男性	女性	合計人数と構成比	
			人数(名)	構成比(%)
0～59歳	0	0	0	0
60～64歳	0	0	0	0
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	2	1	3	6
75～79歳	0	3	3	6
80～84歳	2	5	7	14
85～89歳	1	9	10	20
90～94歳	4	8	12	24
95～99歳	2	10	12	24
100歳以上	0	3	3	6
合計	11	39	50	100
	最高年齢	最低年齢	平均年齢	男女平均年齢
男性	99	70	87.1	
女性	103	73	89.7	



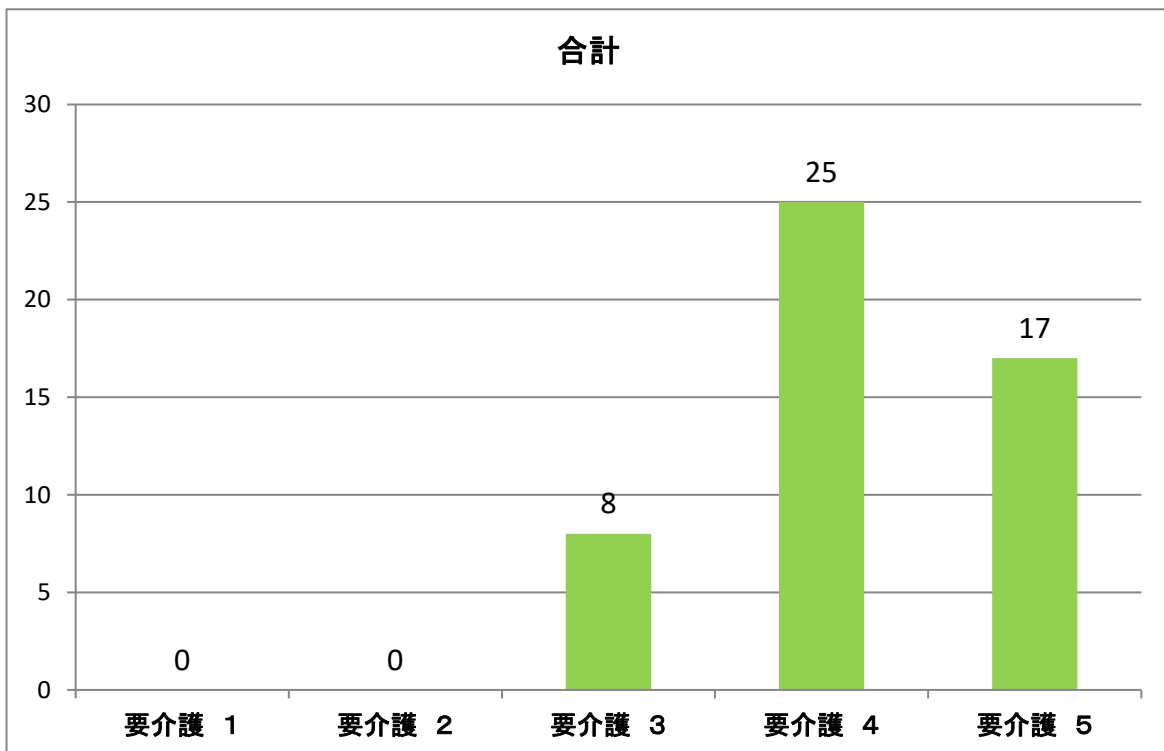
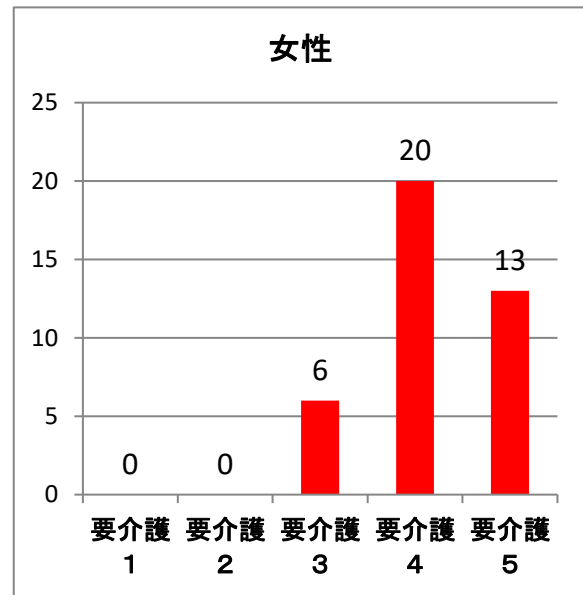
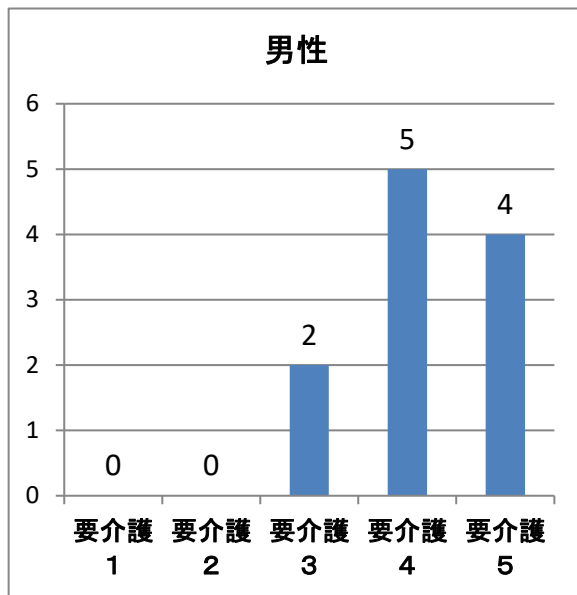
4. 入居期間別人員

	男性(名)	女性(名)	合計(名)	構成比(%)
1年未満	4	11	15	30
1年以上3年未満	4	15	19	38
3年以上5年未満	2	7	9	18
5年以上10年未満	1	6	7	14
10年以上	0	0	0	0
合計	11	39	50	100
平均入居期間	2年3ヶ月	2年6ヶ月	全体	2年5ヶ月



5. 平均介護度別人員

	男性(名)	女性(名)	合計	
			人数(名)	構成比(%)
要介護 1	0	0	0	0
要介護 2	0	0	0	0
要介護 3	2	6	8	16
要介護 4	5	20	25	50
要介護 5	4	13	17	34
合計	11	39	50	100
平均介護度	4.18	4.18		



6. 面会状況(令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日迄の1年間)

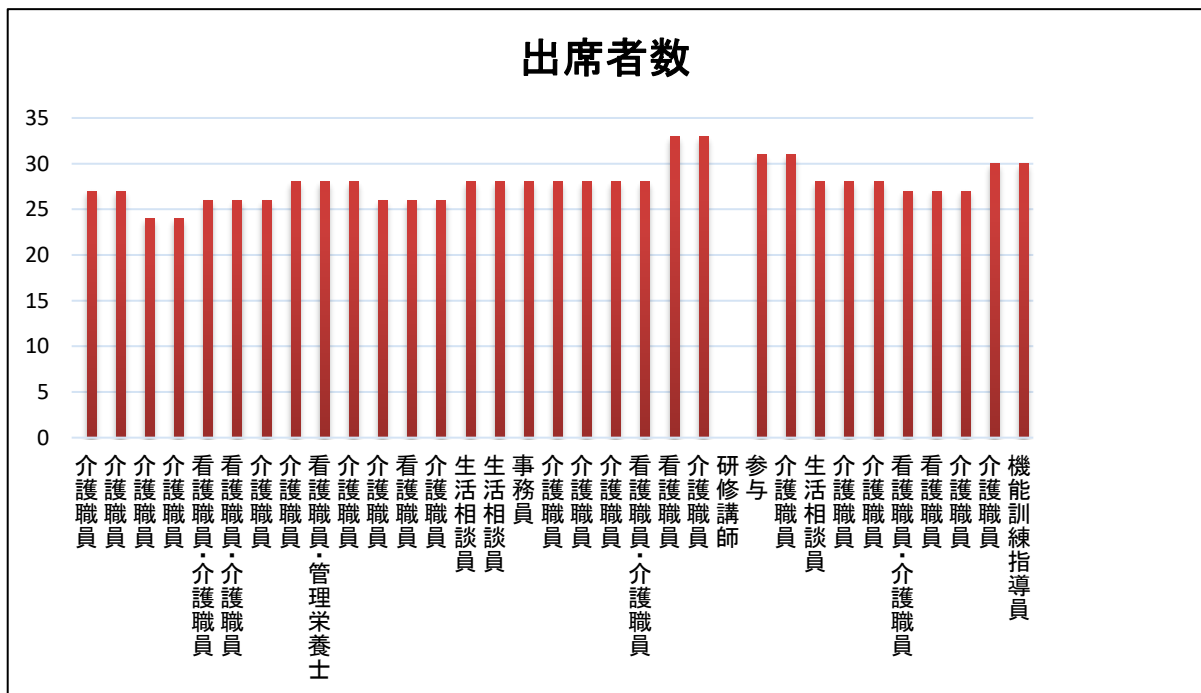
総数	117(件)
1か月平均	9.8(件)
最高(1人あたり)	15(件)
最低(1人あたり)	0(件)
年間1人平均	2.34(件)
1か月1人平均	0.2(件)

7. 研修実施状況

【内部研修】

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
4月	服薬介助の方法について	介護職員	27
	褥瘡予防について	介護職員	27
5月	虐待の定義と具体例について	介護職員	24
	入浴介助について	介護職員	24
6月	防護服の着け方について	看護職員・介護職員	26
	吐物処理の方法について	看護職員・介護職員	26
	移乗方法について	介護職員	26
7月	身体拘束について	介護職員	28
	褥瘡予防(栄養面)について	看護職員・管理栄養士	28
	褥瘡予防(正しいポジショニング)について	介護職員	28
8月	施設で起こる事故をどうすれば予防できるか	介護職員	26
	看取りに必要な知識について	看護職員	26
	陰部洗浄の意義と正しい行い方について	介護職員	26
9月	自然災害BCP訓練	生活相談員	28
	防災マニュアルについて	生活相談員	28
	接遇について	事務員	28
	腰痛予防について	介護職員	28
10月	認知症について	介護職員	28
	不適切ケアについて	介護職員	28
	陰部洗浄について	看護職員・介護職員	28
11月	感染症BCP訓練	看護職員	33
	腰痛予防(ベッド上でのポジショニング修正の際の職員の身体の使い方について)	介護職員	33

実施月	研修内容	研修講師	出席者数
12月	防犯について	参与	31
	施設での防犯対策を理解する訓練	介護職員	31
1月	自然災害BCP訓練	生活相談員	28
	KYTについて	介護職員	28
	脱健着患について	介護職員	28
2月	感染症BCP訓練	看護職員・介護職員	27
	緊急時の対応について	看護職員	27
	褥瘡予防について	介護職員	27
3月	身体拘束について	介護職員	30
	看取りについて	機能訓練指導員	30



【外部研修】

実施月	研修種類	研修内容	出席者職種
6月	講義	ノーリフティングケア普及啓発事業マネジメント研修	介護職員
9月	講義	養介護施設従事者等による高齢者虐待防止研修会	介護職員
10月	講義	特定給食施設等関係者研修会	管理栄養士
10月	講義	東予地区老施協 介護支援専門員研修会	介護支援専門員
11月	講義	自立支援総合研修～認知症・BPSDについて～	生活相談員
11月	講義	感染症対策マネージャー養成研修会	看護職員
2月	講義	西条保健所リスクマネジメント研修会	看護職員
2月	講義	生産性向上促進セミナー	介護支援専門員

8. 食事

【栄養所要量】

区分	1人1日当たり給与栄養量	1人1日当たり荷重平均所要量
エネルギー	1564kcal	1500kcal
たんぱく質	57.8g	58.3g
脂質	42g	42.2g
カルシウム	826mg	622mg
鉄	8.3mg	6.2mg
レチノール当量	628 μ g	681 μ g
ビタミンB1	1.33mg	0.84mg
ビタミンB2	1.19mg	0.86mg
ビタミンC	98mg	100mg

【献立例】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
たらの香草パン粉焼き	五日寿司	ちらし寿司	セタそうめん	豚とろろ丼	ひじきご飯
豆ご飯	オムライス	魚の香味焼き	シーフードカレー	あじの和風ムニエル	あじの南蛮漬け
チキン南蛮	ココイチ特製カレー	きしめん	梅のたきこみご飯	とうもろこしご飯	金目鯛の煮付
うどん	さばの竜田揚げ	鶏肉のゆず焼き	うなぎ寿司	唐揚げのおろしポン酢	親子丼
ビビンバ丼風	はちみつケーキ	八宝菜	鶏肉の山椒炒め	きつねそば	鶏肉のきのこマヨネーズ焼き
苺モンブラン	ほうれん草のカップケーキ	プリン	パインゼリー	カステラ	おはぎ

10月	11月	12月	1月	2月	3月
味噌ラーメン	ちゃんぽん	ほうとう	おせち	巻き寿司	鮭のちゃんちゃん焼き
牛丼	麻婆豆腐	そば	吉野家牛丼	あなご丼	回鍋肉
餃子	擬製豆腐	ポテトグラタン	七草粥	ほっけみりん焼き	ちらし寿司
チキンピカタ	天津飯	ハヤシライス	クリームシチュー	あじフライ	ポークかつ
豆腐ハンバーグ	ぶりの照焼き	ハンバーグ	銀だらの西京焼き	ツナとトマトのパスタ	さくらゼリー
かぼちゃプリン	ぶどうゼリー	ケーキ	おしるこ	チョコケーキ	チョコレートまんじゅう

9. 行事・クラブ活動及びボランティア受入れ実施状況表

【行事・クラブ活動】

実施月	指導援助者	内容	参加者数
4月	介護職員	お花見ドライブ	11名
	介護職員	桜の制作	15名
	介護職員	誕生日会	28名
5月	介護職員	端午の節句	12名
	介護職員	誕生日会	10名
6月	介護職員	紫陽花作り	5名
	介護職員	誕生日会	15名
7月	介護職員	七夕	16名
	介護職員	誕生日会	16名
8月	介護職員	スイカ割り	10名
	介護職員	花火	15名
	介護職員	誕生日会	10名
9月	介護職員	敬老会	66名
	介護職員	誕生日会	30名
10月	介護職員	子供神輿と獅子舞見学	30名
	介護職員	誕生日会	12名
11月	介護職員	誕生日会	8名
	介護職員	庄内ふれあい文化祭見学	2名
12月	介護職員	小学生と交流会	16名
	介護職員	誕生日会	12名
	介護職員	クリスマス会	68名
1月	介護職員	初詣	35名
	介護職員	誕生日会	15名
2月	介護職員	節分	12名
	介護職員	誕生日会	15名
3月	介護職員	ひな祭り	13名
	介護職員	誕生日会	13名

【地域交流・ボランティア受入れ状況】

実施月	団体名	内容	参加者数
12月	庄内小学校	交流会	16名

10. 苦情状況

【苦情状況】

日付	法人との関係	内容
令和6年度		特になし



